

草原再生協力店・商品づくり事業実施状況（中間報告）



1. 計画の概要

(1) 趣旨

目的と実施方法

草原再生を進めるためには、地域内外の多くの人々に取り組みの主旨を理解してもらい、参加してもらうことが重要である。そこで、地元生産農家や消費者が積極的に草原再生に関わることでできる仕組みとして、「草原再生シールによる草原再生協力店・商品づくり」を進める。すなわち、図に示すような「草原再生シール」を作成・配布し、一定の利用ルールの下でこのシールを貼った商品を流通させるとともに、さまざまな広報活動を行うものである。



草原再生シール

今回は、この企画の有効性や実現性を検証するため、3ヶ月間の実験を行うこととした。

ねらいと効果

消費者が、この草原再生シール商品に価値を見出し、進んで購入するようになることで、地域での野草の利用が促進され、草原保全につなげていくことをめざす。

また、野草の利用や草原保全への寄与という視点から、産品への新たな魅力付けや新商品開発を進めることで、地元生産農家や商店などが積極的に草原再生に関わっていくきっかけとする。

試行期間

平成16年10月1日～平成16年12月31日

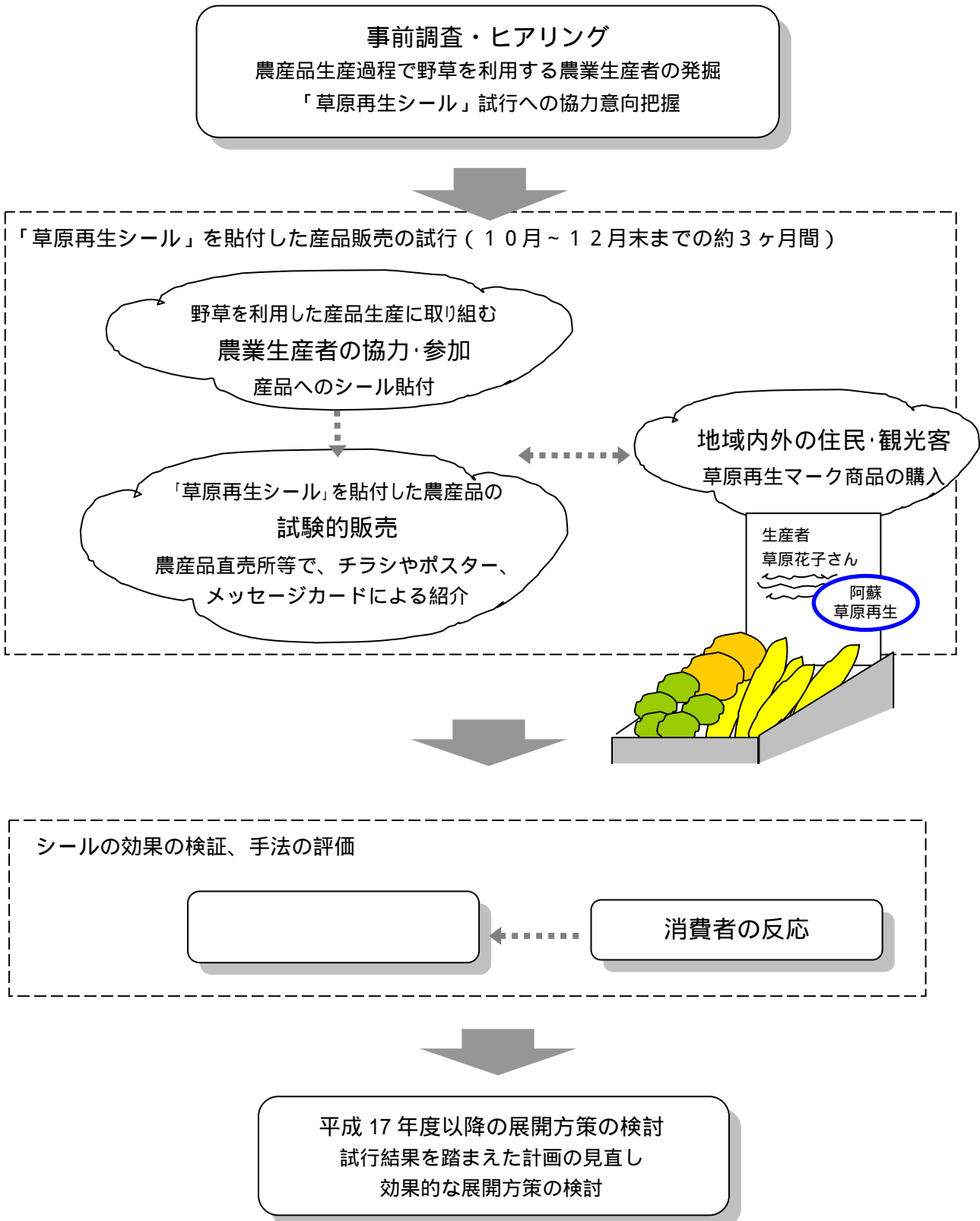
試行内容

「草原再生シール」を貼る対象を、堆肥などに阿蘇の草原の野草を継続的に使用して栽培した農作物とし、シールを貼った商品を試行的に直売所等で販売する。

試行中に消費者へのアンケート、終了後に生産者や販売所へのヒアリングを行い、シール貼付による効果の検証、手法の評価を行う。

このほか、草原の野草を使って育てた農作物を使っているレストランには、チラシの配布やポスターの設置等の宣伝協力をお願いするとともに、当取組みに協力しているお店であることがわかるようなマークを作成し、店内に掲示してもらう。

「草原再生シールによる草原再生協力店・商品づくり」に向けた検討の流れ



(2) ルールの設定

生産者には、次のようなルールの下で、実験に参加していただいた。

阿蘇草原再生シール利用規約（試行期間用）

試行期間中は、草原再生シール事業事務局（以下、「事務局」といいます）が発行する「草原再生シール」（以下、「シール」）のご利用について、以下の事項をお守りいただきます。

- 1．シールを貼ることのできる商品は、堆肥など阿蘇の草原の野草を継続的に使用して栽培した農作物のみとします。これ以外の商品には貼らないで下さい。
- 2．シールを利用される方は、事務局が行うインタビューに応じ、ホームページに生産過程や野草の使われ方などを紹介することにご協力いただきます。
- 3．野草を使っていない商品にシールを貼付した場合やインタビューに応じていただけない場合は、利用者に対しシールの利用停止を求めることがあります。
- 4．利用者によるHPに掲載されたデータの不備や誤りが原因で、商品売買上の支障が生じた場合、事務局は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 5．本規約は、2004年9月1日より有効とします。

2. 実施状況

平成16年12月10日現在、阿蘇町及び一宮町を中心とする生産者14名、販売店5店舗のほか、シール対象商品を使った料理を提供している飲食店2店舗の協力を得て試行している。

(1) 協力生産者

(50音順)

氏名	ひとこと	住所	シールを貼っている主な農産物
阿部クニエさん	自然のうまみは、お金では買えないおいしさです。	阿蘇郡阿蘇町	自然薯、カボチャ
井田チサ子さん	野草で育てたトマトのうまさに、とりこになりますよ。	阿蘇郡一の宮町	トマト、キュウリ、キャベツ
市原ご夫妻	化学肥料を使わずに育てた健康な野菜たちです。	阿蘇郡一の宮町	ブロッコリー
岩下美津子さん	阿蘇の自然が育てた野菜を味わってください。	阿蘇郡一の宮町	サトイモ、白菜、大根、キャベツ、コンニャクイモ
甲斐イチヨ・春人ご夫妻	新鮮・安全を第一に心がけて育てています。	阿蘇郡一の宮町	白菜、イチゴ、ナス(ヒゴムラサキ)など
後藤克征さん	天然ものにこだわって育てています	阿蘇郡白水村	自然薯
畑本さん	野菜本来の香りを食卓に。	阿蘇郡阿蘇町	ニンジン、白菜、キャベツ、里芋、長ネギ
広瀬与一さん	うちのかぼすは、大きくて身もぎっしりです。	阿蘇郡阿蘇町	里芋、かぼす
本田勇・エミ子ご夫妻	野草の有機質をたっぷり含んだ健康な野菜たちです。	阿蘇郡阿蘇町	タマネギ、ほうれん草、ニンジン、スイートコーンなど
宮崎初代さん	土づくりにこだわって生産したミニトマトをぜひ味わってください。	阿蘇郡阿蘇町	ミニトマト
宮崎英雄さん	花を飾って明るい食卓にしてください。	阿蘇郡一の宮町	トルコギキョウ
八木イス子さん	健康な野菜を食べて、健康な体を作ってください。	阿蘇郡一の宮町	ハウレンソウ、ハクサイ、ニンジン、ダイコン、ネギ、サトイモ、春菊、チンゲン菜、サニーレタス
八木恵理子さん	見た目は良くないですが、味は絶品です。	阿蘇郡一の宮町	米、ダイコン、ネギ、ニンジン、タマネギ、ジャガイモ
山口ヒサカさん	野草からできた堆肥をたっぷり使って育てた野菜は、生命力にあふれています。	阿蘇郡一の宮町	大根、人参、白菜、ハウレンソウ、ブロッコリー、玉ねぎ、春菊、里芋、ナスなど

生産者の紹介（阿蘇草原再生ホームページより）

「草原再生ホームページ」上で、各生産者の「主な農作物」「草の使い方」「消費者の方への商品 PR」「草原再生について一言」を紹介している。

生産者データ	
氏名	山口ヒサカ
住所	阿蘇郡一の宮町宮地
主な農作物	大根、人参、白菜、ホウレンソウ、ブロッコリー、玉ねぎ、春葱、草、ナスなど
こんな風に草を使っています	刈ってきた干し草は、畑の脇に小積みして、冬の豚や牛の餌や糞の肥料に使います。圃から出た堆肥は別に積み上げ、時々切り込みながら腐敗させます。春、種を播く前に、この堆肥を土にたっぷり混ぜ込むと、土がホカホカと乾かなくなり野菜づくりにはいい状態になります。こうやって土作りをすると追肥も少なくて済み、雑草取りの手間も省けます。何より野草の育力が強いです。
消費者のみなさまへ	野草からできた堆肥をたっぷり使って育てた野菜は、生命力にあふれています。ナスも、もぎたてを生で食べられるほど自然の甘みが強くて美味しく、安心して食べられます。商品の最盛期には漬物もつくっていますので、あわせて召し上がってください。
草原再生について一言	草原を守ることは何より大事だと思っていますが、雑草が不足が問題です。今では、山で一輪に草を刈る人も減り、採り回しがありません。干し草を切った所は春には新芽が出て非常にきれいですが、切らない草の芽色が入り混じると美しくありません。阿蘇五岳のひとつ様子も干し草を切らないところがいいんねん。登山者から「昔と比べてずいぶん荒れましたね」といわれることがあり、寂しい思いがしました。何とか美しい草原を守ってきたいというのが願いです。
ここで購入できます	・JAアゼリア販売所(一の宮町) ・四季彩いちのみや(一の宮町)

山口ヒサカです



畑の脇に小積み干し草



野草の堆肥を使って育てた野菜は、生命力にあふれています。



生産者データ	
氏名	広瀬幸一
住所	阿蘇郡阿蘇町山田
主な農作物	草、かぼす
こんな風に草を使っています	原野から刈ってきた草を、うちで飼っている牛の餌や肥料にして、できた堆肥を、コロンコロンして発酵させたものを畑に入れます。トマトは、刈ってきた草を細かくしたものを畑に撒きこみます。かぼすは、木の根元から1mほど離れたところに穴を掘って堆肥を入れています。
消費者のみなさまへ	うちのかぼすは、普通のものよりひとまわり大きくて、しかも中身がぎゅっと詰まっています。持ってジュースにして保存すれば1年中かぼすが楽しめます。後熟に少し入れると、からみがとれておいしいです。是非お試しください。
草原再生について一言	畜産業の後継者が減って、草原がどんどん荒れると、山火事もおきやすくなると、それを防ぐための輪地作りも大変なんですよ。でも、どうにかして、草原は残していきたいと思っています。
ここで購入できます	・はな阿蘇美(阿蘇町)

うちで採れたかぼすです



牛の食べ残した野草が牛糞と混ぜ合わさって野草堆肥ができます



サトウ干草です



(2) 協力店

店舗名	住所	連絡先
JAアゼリア販売所	阿蘇郡一の宮町	0967-22-5512
四季彩いちのみや	阿蘇郡一の宮町	0967-35-4155
はな阿蘇美	阿蘇郡阿蘇町	0967-23-6262
もっこす市場なのはな館	阿蘇郡阿蘇町	0967-35-5222
物産館「自然庵」	阿蘇郡白水村	0967-62-3303

協力店の紹介

ホームページ上では、「シールのついた商品が買える店」として、下図のような紹介を行っている。

協力直売店データ		協力直売店データ	
店舗名	JJAアゼリア直売所	店舗名	もっこす市場
住所	熊本県阿蘇郡一の宮町宮地5816	住所	熊本県阿蘇郡阿蘇町宮原1082
電話	0967-22-5512	電話	0967-35-5222
営業時間	8:30~17:00	営業時間	9:00~18:00
定休日	第2、4月曜日(祝日営業)	定休日	AM9:00~PM6:00
アクセス	熊本10.から国道57号線を阿蘇方面へ車で約60分。国道57号を仙酔峠方面に折れて約1km。アゼリア21内。	アクセス	国道57号線沿い いこの村駅徒歩5分
HPアドレス	http://www.town.ichinomoto.kumamoto.jp/Event/Azeria/azeria.htm	HPアドレス	http://www.aso.or.jp/Citizen/index.html
お店紹介 採れたて野菜や地元の野菜を使った加工品などを販売しています。店内に所産しと並べられた農産物は、見るだけでも阿蘇を満喫できますよ。 店内に併設された食事処「あぜり庵」では、阿蘇のおっちゃんたちの手作り料理も食べられますので、是非、お立ち寄りください。		お店紹介 当店で販売している野菜は、無農薬、減農薬を徹底しています。生産者の方からは少し大変かもしれませんが、店舗に並べるのは、自分たちが本当に納得のいく商品です。味もよく、長持ちすると評判です。草を使う昔ながらの農法でつくる野菜は、自然と無農薬になります。生産者の顔が見えるので、「〇〇さんのトマトが一番美味しう」というお客さんからのリクエストも。なんといっても信頼関係が一番だと思います。また、当店で販売している野菜をふんだんに使った料理が味わえる食堂や、千仏コーナーやチャラーもありません。是非、お立ち寄りください。阿蘇産が、お待ちしております。	
夏菜について一言 草席は阿蘇の宝物です。この美しい草席をほか製法は、放牧や草刈りなど、利用を続けることしかありません。しかし、急な斜面も、草刈りも生大母ではありません。草席の野草を使った農産物は、美味いだけではなく、そうした地元の人の手摺と思いが凝縮された、非常に価値の高いものなのです。当店も、「草席再生シール」の取組を応援していきます。		夏菜について一言 小さいころは、草拾りの思い出があります。私たちがにとって草席はたいへん身近なものです。草席は都会の人たちの飲み水を蓄える水源にもなっているし、知らないうちに、みんな草席から恩恵を受けていると思います。草席に興味をもつ人が、もっと増えればいいですね。	
JJAアゼリア直売所の外観  店内の様子  アゼリア直売所の舗 小園さん 		国道沿いから見た「もっこす市場」  店内に並ぶ新鮮野菜  スタッフのみなさん 	

その他の協力店（飲食店）

- ・ 藤屋レストラン（一の宮町：あか牛料理を中心とするレストラン。野菜等は直売所「四季彩いちのみや」で野菜等を調達することもある）
- ・ レストラン燦（阿蘇町：はな阿蘇美に併設されたレストラン、薬膳料理を主体としたメニューを提供している）



藤屋レストラン店内に貼られたポスター

(3) 広報

草原再生ホームページによる紹介



ポスター

「草原再生シール」のついた商品を販売する協力店や飲食店に掲示している。

チラシ

「草原再生シール」のついた商品を販売する直売所及び飲食店に置き、消費者に配布している。



メッセージカード

チラシと同様に、協力店内に置いて配布するほか、商品の袋に入れるなどして消費者に配布。



メッセージカードが入った袋入り野菜

(4) アンケート調査

購入した理由や、シールが貼られた商品のイメージ、今後の購入意向等を把握し、今後の課題を探るためのアンケートを実施。抽選で20名に阿蘇の特産品をプレゼント。直売所や直売所に併設された飲食店に置いたり、購入者にレジで渡してもらうなどして配布。



以下の質問にお答えの上、右側の回答欄に記入ください。 該当する番号を○で囲んで下さい。一部記入いただくものもあります。		回答欄	
Q1	年齢	A1	1. 10代以下 2. 20代～30代 3. 40代～50代 4. 60歳以上
Q2	性別	A2	1. 男性 2. 女性
Q3	居住地	A3	1. 阿蘇郡内 () 町・村 2. その他 () 郡・市・町・島
Q4	連絡先 ※抽選によるプレゼントご希望の方はこちらにご記入下さい	A4	ご住所 () お名前 ()
Q5	シールやメッセージカードを見て「草原再生」に興味を持ちましたか。	A5	1. 大変興味を持った 2. 興味をもった 3. 取り組みを知った程度で興味はない
Q6	今後、シールの貼られた商品を購入したいですか (近くのスーパー等で販売されたら想定してください)	A6	1. 是非購入したい 2. 購入したい 3. わざわざ購入したいとは思わない
Q7	Q6で「1. 是非購入したい」あるいは「2. 購入したい」と答えた方にお尋ねします。それはなぜですか。	A7	1. 健康によさそうだから 2. 美味しそうだから 3. 環境によいことだから 4. 阿蘇の地域活性化に役立つから 5. 草原再生に貢献できるから 6. その他
Q8	シールの貼られた商品が、シールの貼られていない商品より多少(消費税分程度)高くても購入しますか	A8	1. もう少し高くても購入する 2. 消費税分程度なら購入する 3. 少しでも高ければ購入しない
Q9	「草原再生」シールの取り組みについてご意見があればお聞かせください。(自由記入)	A9	

ご協力ありがとうございました。回答欄を切り離してご返願いただくか、箱内に設置してあるアンケート回収箱にお入れください。

(5) キャンペーンイベントの実施

草原再生に向けての情報発信と草原再生シール商品に対する消費者の反応を確かめることを目的に、以下のイベントに参加し、シール商品を販売するとともに、アンケートの配布・回収を行った。

イベント名	主催	実施場所	実施日	販売数
阿蘇フォーラムまるごとフェスタ「阿蘇見本市」	阿蘇フォーラムまるごとフェスタ、国立阿蘇青年の家、環境省	国立阿蘇青年の家(阿蘇郡一の宮町)	平成16年10月31日(日)	生産者6名の協力により96袋を販売。完売した。
かたらんね歳末感謝祭	(社)熊本県物産振興協会	熊本市テトリア熊本1階(熊本市)	平成16年12月19日(日)	生産者6名の協力により約230袋を販売予定

資料2-3参照

別添「実施要領」参照

(6) シール配布状況

11月末現在、約13,500枚を配布。最も多い生産者で2,300枚を配布している。

3. 取組みに対する反響

(1) 関係者の声

生産者

- ・ このシールを貼ると、野菜がおいしそうに見えるわ。
- ・ シールを貼るのに時間がかかり、特に朝の出荷時の忙しい時間帯なので面倒なの。

協力店関係者

- ・ シールのついた商品から売れているようですよ。
- ・ シールを貼っていない生産者から、シールのことについて聞かれることがあります。
- ・ 新聞で紹介されたことがきっかけで、消費者の方に「シールのついた商品はどこですか」とよくたずねられる。しかし、実際にシールのついた商品は少なく、申し訳ない時がある。

(2) 消費者の声（アンケート回答より）

（草原再生やシールによる商品づくりの取組みへの期待）

- ・ この取組みは草原の再生され、環境が守られるし、野菜は減農薬と消費者は安心して口にできるので、もっと広めて行って欲しいです。
- ・ 地球にとって良いことは、私達にとっても良い事です。本当の食の大切さを子供達に伝えていきたいと思っています。
- ・ 阿蘇の草原を守るために、ぜひぜひ続けて下さい。いつも手に入ることを願っています。
- ・ 阿蘇に住む一人として、しっかりした取組みを期待します。
- ・ 自然を守るためにもしっかり取り組んでもらいたい。
- ・ 個々の人たちの気持ちと努力で後々の再生に続いていくと思います。良い商品であれば、少々高くても買うと思います。

（取組みの展開に向けた課題につながる意見や提案）

- ・ 消費税分価格が高くなっても健康上保障されれば大変望ましいと考えればよい。
- ・ 近隣の県やインターネット等での通信販売で購入できるようになるとありがたいです。
- ・ もう少し徹底して貼った方がよい。貼っている商品が少なすぎる。
- ・ 大変良い取組みだと思う。しかし、シールの意味を知っている人が少ないかと思う。

（その他）

- ・ 初めて知りました。もっと阿蘇の草原のことを知りたくなりました。
- ・ シールの柄やデザインにも好感が持てました。

(3) 新聞記事

これまでに、読売新聞（熊本版）、西日本新聞、熊本日日新聞で紹介されている。

4. 今後の展開

1月中旬、草原再生シール協力生産者等による座談会を開催し、試行期間の取組みの成果や問題点、今後への期待などについて意見交換を行う予定。この結果や消費者アンケート結果を基に、事業の継続や協力者拡大の可能性、そのために必要な条件整備等について検討し、今後の展開方策を明らかにしたい。

(別添)

阿蘇草原再生「草原再生シールによる草原再生協力店・商品づくり」
熊本市内におけるキャンペーン販売 実施要領

趣旨

阿蘇草原再生に向けた取組みの一環として、平成16年10月より阿蘇郡内を中心に試行している「草原再生シールによる草原再生協力店・商品づくり」について、都市住民に広くアピールするとともに、取組みに対する評価・意向を調査するため熊本市内で実験的な販売を行う。

実施日時：平成16年12月19日(日)10:00～16:00(予定)

「かたらんね」年末感謝祭実施期間中

実施場所：熊本県観光物産交流スクエア「かたらんね」前

(国道3号線側イベント会場、雨天の場合は「かたらんね」店内)

熊本市手取本町8-2

手取本町再開発ビル「テトリアくまもと」1F

TEL：096-212-3040

実施主体：「草原再生シールによる草原再生協力店・商品づくり」事務局

環境省自然環境局九州地区自然保護事務所(担当/羽井佐)

株式会社 メッツ研究所(担当/石原、角田)

協力：熊本県観光物産交流スクエア「かたらんね」

井信行氏(阿蘇草原再生「情報発信・合意形成に関する検討部会」委員、

「かたらんね」に出店)

実施内容：熊本市内における草原再生シール商品の試行販売と意向調査

- ・ 草原再生シール協力農家が生産するシール対象農産品の販売、チラシ配布等により草原再生シールについてアピールする。
- ・ 購入者や店舗来訪者等にアンケート調査を行い、取組みの評価、今後の展開方策を検討する上での資料とする。

実施方法

- ・ 実施当日の朝、阿蘇郡内で協力農家より農産品を集荷して「かたらんね」に配送。生産者がつけた価格で販売する(売上金は生産者のものとする)。
- ・ 販売する農産品には、生産者の写真とメッセージの入った価格ラベル、草原再生シールを貼付する。
- ・ 販売スペースの設置、販売、アンケート配布・回収等にあたっては事務局より人員配置する。